

平成22年度第1回外国籍県民県政モニターアンケート

調査結果

1 調査の概要

(1) 調査目的

県が在住外国人支援をはじめとする多文化共生推進施策をすすめていく上での参考とするため、アンケート調査により外国籍県民の意見・要望を把握することを目的とする。

(2) 調査手法

インターネット調査及び郵送による調査

(3) 調査対象者

外国籍県民県政モニター113名
(うち回答者数73名、回答率64.6%)

(4) 調査項目

- 観光について(情報の入手方法、パンフレットの配布場所、参加したい埼玉県内のツアー)
- 多文化共生について(外国人の地域の活動、外国人のニーズ、多文化共生の社会づくりのために外国人がしていること・行政が対応すべきこと)

(5) 調査期間

平成22年7月8日(木)～8月11日(水)

(6) 回答者の属性

全体		73 (人)	100.0 (%)
性別	男性	25	34.2
	女性	48	65.8
年齢	20代	16	21.9
	30代	31	42.5
	40代	18	24.7
	50代以上	8	11.0
在留年数	1～3年未満	19	26.0
	3～5年未満	6	8.2
	5～10年未満	19	26.0
	10年以上	30	39.7
在留資格	永住	29	41.1
	日本人の配偶者	17	23.3
	技術	7	9.6
	留学	6	8.2
	人文知識・国際業務	4	5.5
	定住	4	5.5
	特別永住	2	2.7
	家族滞在	2	2.7
	教授	1	1.4
職業	専業主婦	25	34.2
	会社員	19	26.0
	学生	7	9.6
	無職	6	8.2
	その他・不明	16	21.9
国籍	中国	42	56.3
	韓国・朝鮮	12	16.9
	ブラジル	3	4.2
	ペルー	3	4.2
	その他	13	12.3

2 ちょうさけっか みかた
調査結果の見方

(1) ぐらふすうち かいとうしやすう きすう さんしゆつ かいとうひりつ
グラフ数値は、回答者数を基数として算出した回答比率である。

(2) かいとうひりつ しょうすうてんだい い ししやごにゆう こ こ ひりつ ごうけい
回答比率は、小数点第2位を四捨五入したものであり、個々の比率の合計は100%
にならないことがある。

(3) ふくすうかいとうかのう せつもん かいとうひりつ ごうけい こ
複数回答可能な設問については、回答比率の合計が100%を超えることがある。

(4) あんけえと そのたいけん おも ぼっすい
アンケートでのその他意見については、主なものを抜粋した。